2014年9月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　載　内　容
和文総説		
1	発表者名	小島　肇
	演題名	化粧品・医薬部外品の安全性評価ための動物実験代替法開発の現状と課題
	学会名，発表年月及び場所	フレグランスジャーナル，12-19（2014）
国内学会		
1	発表者名	小島　肇
	演題名	実験動物代替法の現状と化学品メーカーの取り組み
	学会名，発表年月及び場所	新科学技術推進協会　ライフサイエンス技術部会　材料分科講演会（2014.9）（東京）
2	発表者名	小島　肇
	演題名	動物実験代替法開発の国内外の動向と化粧品・医薬部外品への代替法活用の現状について
	学会名，発表年月及び場所	皮膚基礎研究クラスターフォーラム（2014.9）（東京）
レギュラトリーサイエンス学会		
1	参加者名	小島　肇
	会議名（英文の場合は和訳も記載）	Scientific Advisory Committee on Alternative Toxicological Methods(SACATM) and an International Cooperation on Alternative Test Methods (ICATM)（代替法科学諮問委員会会議および代替法国際協力調整会議）
	開催場所，年月	米国・ローリー市　NIEHS（米国環境健康科学研究所），2014年9月16-18日
	会議内容（150字以内）	米国　動物実験代替法評価センター（NICEATM)より，検討中のテーマとして，感作性試験，生殖毒性試験，急性毒性試験，内分泌かく乱試験などの説明を受けた．NICEATMはいずれもOECDやICHで進んでいるプロジェクトとは別の計画を進めていた．